



学び合いの場デザイン会議

参加した高校生の中から、運営メンバー10人を選出し、市民ファシリテーターとともに運営チームを構成しました。対話の場のデザインや運営についての打ち合わせに参加し、大人と高校生が協働して取り組みました。



学び合いの場

学び合いの場デザイン会議で協議した地域課題などを解決するため、高校や大学、市が連携し多様な人との「対話の場」を開催。生徒や学生は「学び」や「気づき」を得るとともに、会議の進行役「ファシリテーター」のスキルを学びました。



マニフェスト大賞 「優秀シチズンシップ推進賞」受賞

今回のプロジェクトが、マニフェスト大賞実行委員会主催のマニフェスト大賞で「優秀シチズンシップ推進賞」を受賞。これまでの取り組みが評価されたことは大きな成果であり、参加した高校生の自信にもつながりました。



高校生を地域の担い手に

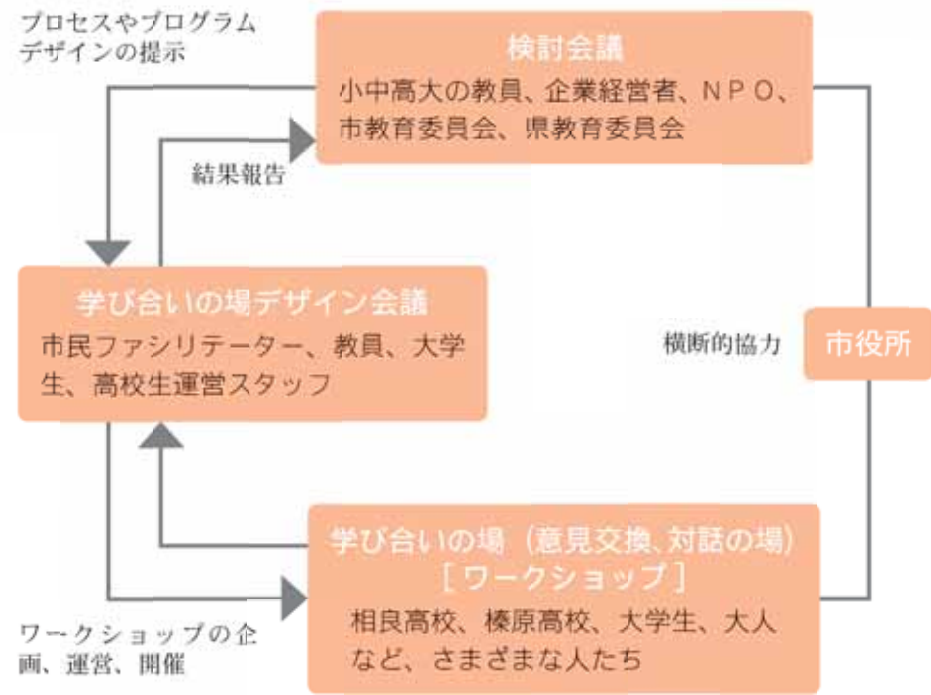


地域リーダー育成プロジェクトは、市内にある県立相良高校と県立榛原高校の生徒を対象に、大学生や大人との意見交換「学び合いの場」を通して、将来地域の担い手を育てるものです。プロジェクトには合計185人の生徒が参加し、その中の3人が市初の「高校生ファシリテーター」に認定されました。
問い合わせ 企画政策課 松井 ☎0053

対話により「気づき」「学び」
地域リーダー育成プロジェクトは、市内にある相良高校と榛原高校の生徒たちが「学び合いの場」などを通して、将来地域を担うリーダーになることを目指し取り組んだものです。
高校生は、学び合いの場での大学や企業、地域など、さまざまな人たちとの出会いや対話による「学び」や「気づき」によって、これからの生き方に良い刺激を受けました。今回のプロジェクトは、マニフェスト大賞実行委員会主催のマニフェスト大賞で「優秀シチズンシップ推進賞」を受賞し、高校生たちの自信につながりました。また、市初の「高校生ファシリテーター」の誕生にも結び付きました。

取り組みの輪を広げる
「対話」による学び合いを

地域リーダー育成プロジェクト体系図



通して、地域の自治を主体的に担う市民を育てることは、地域の絆をさらに深めるためにもとても大切なことです。高校生ファシリテーターが、その一役を担う人材であると期待しています。今後、市内の高校との連携だけでなく、近隣市の高校やそこへ通う生徒たちとも連携し、取り組みを広げていこうと考えています。また、大学や企業などともつながりを密にし、地域への理解を深め、より地域への愛着や誇りを持ち、将来地域の課題解決に貢献する人材を育成していきます。

参加した皆さんからの声



増田雄帆さん（榛原高校3年）*平成29年3月時点。

経験したことを社会人になっても生かしていきたい

将来、警察官になったときでも、いろいろな人の話を聞き、それを実現できるような大人になりたいと思いました。こういった良い経験を生かし、社会人になってもさまざまな人との対話を通じ、関係を深めていきたいと思います。

樽林千夏さん（榛原高校3年）*平成29年3月時点。

地域の保育に貢献していきたい

大人の方は、さまざまな視点から物事を見ており、高校生だけで話し合いをするときよりも、広さだけではなく深みも話が増えていくなと思いました。問いに対し、自分の言葉を重ね過ぎず、方向づけてしまう言葉を選ばないようになりました。将来は地元に戻ってきて、地域の保育に貢献していきたいという思いが強くなりました。



杉山魁さん（榛原高校3年）*平成29年3月時点。

将来は地域に戻ってきたい気持ちに

将来、自分が地域に戻ってきたいという気持ちがすごく強まりました。気が付いたら、がらりと全部志望校を変えてしまいました。「絵」ではなく「チームで映像を作りたい」みたいな、全然違う方向になってしまうくらい影響を受けたので、プロジェクトに参加して大きな意味や価値があったと思います。



澤島千温さん（市民ファシリテーター）

選ぶ、決定する機会を与えることが大事

私たち大人は、子どもや高校生の力を信じて、本人たちが考え選ぶ、決定するといった機会を与えることが、非常に大事であると思っています。牧之原市だけでなく、市の壁、境界を越えて、より広域にプロジェクトが広がっていくことを願っています。



「対話でまちがつながる2日間」と題したフォーラムを静岡市内のホテルで開催。全国から集まった大学生や教職員、議員、自治体職員など256人が参加。2日目には高校生が進行役のファシリテーターを務め、見事な仕切りを披露しました。

コンファレンスフォーラム 「対話でまちがつながる2日間」



「主権者教育」に力を入れている岐阜県可児市の県立可児高校から、交流会の申し込みがありました。交流会は全2回行われ、高校2年生を中心としたプロジェクトメンバーと可児高校の生徒とが、意見交換を行い交流を深めました。

可児高校との交流



今回のプロジェクトで活躍した増田雄帆さん、樽林千夏さん、杉山魁さんを、市初の「高校生ファシリテーター」として認定しました。地域を担うリーダーとしての今後の活躍に期待を込め、西原市長から認定証を授与しました。

高校生ファシリテーター認定

